

哺乳類

(1) 哺乳類の概要

長崎市では、長崎県版レッドデータブックで指定している21種のうち、6種が生息しているが、今回、長崎県版で指定されていないニホンジネズミを新たに加えた。長崎市において最も絶滅が危惧されるのはコウモリ類である。近年、生息場所である洞窟の崩壊や閉鎖により住み場所が極端に減少し、その個体数も激減している。指定した3種以外にも分布している可能性が高く、すみかである洞窟の保全が求められる。

また、キツネは里山付近に意外と生息しており、長崎市近郊でも目撃されることがある。カヤネズミやニホンジネズミは市街地での発見例は少ないが、周辺地域のススキ原や河川敷で発見されることがある。イタチは日本固有種であり、移入種のチョウセンイタチが増加しているため、都市部や農村地帯では減少している。

(2) 哺乳類リスト

	科名	和名	県区分	環境省区分	ページ
絶滅危惧ⅠB類 (EN)	キクガシラ コウモリ科	コキクガシラコウモリ	準絶滅危惧 (NT)	—	86
		キクガシラコウモリ	準絶滅危惧 (NT)	—	86
	ヒナコウモリ科	ヤマコウモリ	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	準絶滅危惧 (NT)	86
絶滅危惧Ⅲ類 (VU)	イヌ科	キツネ	準絶滅危惧 (NT)	—	86
	ネズミ科	カヤネズミ	準絶滅危惧 (NT)	—	87
準絶滅危惧 (NT)	トガリネズミ科	ニホンジネズミ	—	—	87
	イタチ科	イタチ	準絶滅危惧 (NT)	—	87

コキクガシラコウモリ (キクガシラコウモリ科) **絶滅危惧 I B類(EN)**

Rhinolophus cornutus Temminck

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 市内に散在する防空壕跡や洞窟
県内 ; 県内各地の防空壕跡や洞窟

摘要

小型で体色は褐色。コキクガシラとは、鼻の形態が菊の花弁のように開いていることからつけられた名前。洞窟に生息し、夕方小昆虫を求めて飛び立ち、明け方にもどる。鉱山跡や防空壕跡など市内には多くの洞窟があったが、危険防止のためにふさがれることが多く、生息場所の減少により、個体数も減少している。



キクガシラコウモリ (キクガシラコウモリ科) **絶滅危惧 I B類(EN)**

Rhinolophus ferrumequinum (Schreber)

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 市内に散在する防空壕跡
県内 ; 県下全域の防空壕跡や洞窟

摘要

大型で体色は黒褐色。コキクガシラコウモリと形態は似ているが、より大型で、休憩したり冬眠しているときは翼で全身を覆い隠している。洞窟に生息し、夕方小昆虫を求めて飛び立ち、明け方にもどる。古い小屋にも入り込むことがあるが、主な生息環境の洞窟の減少により、個体数も減少している。



ヤマコウモリ (ヒナコウモリ科) **絶滅危惧 I B類(EN)**

Nyctalus aviator Thomas

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)
環境省カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)

分布

市内 ; 旧琴海町
県内 ; 壱岐市、対馬市、五島列島、大村市

摘要

大型のコウモリで県内では最大級。夕方隠れ家から飛び出し一晩中飛行しながら昆虫を捕食している。昼間の隠れ家は樹洞で洞窟を利用することはない。市内には大きな木は少なく、ヤマコウモリが利用できる樹洞は少ない。



キツネ (イヌ科) **絶滅危惧 II 類(VU)**

Vulpes vulpes (Linnaeus)

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 東長崎地区、旧外海町
県内 ; 県本土全域

摘要

中型犬ぐらいの大きさ。犬によく似た形態だが、赤褐色の背面と真っ白な腹、長いふさふさとしたしっぽ、細く尖った顔で識別できる。普段目にすることはないが、明け方や夕方など山際の畑や道路で目撃することもある。長崎県の個体数は少ないが、特に長崎市は少ない。



(3) 哺乳類

カヤネズミ (ネズミ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Micromys minutus (Pallas)

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧琴海町、旧外海町、東長崎地区、相川町、旧野母崎町など
県内 ; 県本土全域、五島列島、対馬市、平戸市

摘要

体長60mm程度で、ネズミの仲間では世界最小。背中は茶褐色で腹部は白い。長いしっぽを巧みに利用してススキなどの植物の葉上をすばやく動き回る。ススキやチガヤなどのイネ科植物(カヤ)を材料として鳥のような丸い巣をつくり繁殖する。ススキ原を代表する哺乳類。



ニホンジネズミ (トガリネズミ科)

準絶滅危惧(NT)

Crocidura dsinezumi (Temminck)

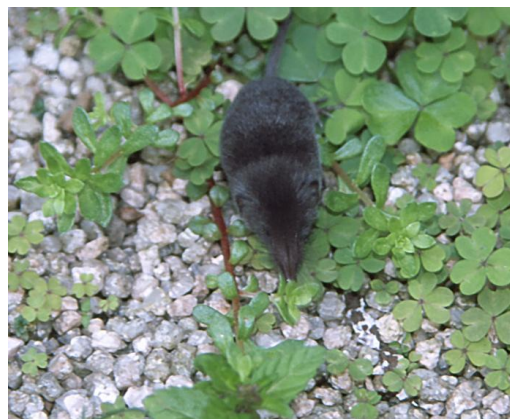
長崎県カテゴリー ; —
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧琴海町、旧外海町、相川町、三ツ山周辺など
県内 ; 県本土全域、五島列島、平戸市

摘要

小さな黒いネズミという感じ。鼻先がモグラのように尖っていることからネズミとは識別できる。目撃例は少ないが、住宅近くの農耕地や草原など、意外と身近に生息。ネコなどの肉食獣が捕らえることがあるが、臭いが強烈なため、食べることはせず放置されることが多い。



イタチ (イタチ科)

準絶滅危惧(NT)

Mustela itatsi (Temminck)

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 市内全域(山間部)
県内 ; 県本土、五島列島(山間部)、壱岐市、平戸市

摘要

全身焦げ茶色から明るい茶色。陸上の小動物や水中の魚などを捕食するが、残飯等にも集まる。対馬市を除く県内全域に広く分布するが、移入種のチョウセンイタチが都市部や住宅街を中心に生息域を拡大しており、人家周辺では駆逐されつつある。両者の識別は難しく、一見ただけでは分からない。

